

介護サービス事業者に対して 事故防止研修会を実施しました

～講演会とグループワークでの危険予知トレーニング（KYT）～

令和6年 11 月 13 日に介護老人保健施設はまゆうの連携室長兼事務長・リスクマネジャーの原口直人様と介護主任の矢野陽一様をお招きし、介護事故の防止に関する研修会を実施しました。三股町内にある介護サービス事業所すべてに案内を出し、23事業所30名の参加がありました。

原口様の講話では、リスクマネジャーについて、リスクマネジメントの目的、はまゆうでの取り組みをお話していただきました。最後に、「介護事故は100%予防することは不可能であるが、介護事故を防ぐための努力は100%しなければならない。100%の努力は利用者の安全を守ることでもあるが、自分に対してのリスクの回避でもある。」とお話しされました。

原口様の講話の様子



～参加者の感想～

「リスクの予想の大切さ、職員間での周知の徹底の大切さが事故防止につながると感じました。」
「リスクマネジメントについて再確認することができた。事故はいつでも起こる可能性があるが、事前に防げる可能性と予想ができるところもあるのでいかに事故につなげないかを考えて過ごすことが必要であると感じた。」

原口様の講話のあと、矢野様によるグループワークを実施しました。危険予知トレーニング（KYT）として、一枚の居室の写真を見ながらどのような危険があるかを多職種のグループで話し合い、発表していただきました。また、1つの事故の事例に対し、利用者側の原因・介護者側の原因・環境面の原因をグループで話し合い、発表もしました。参加されたサービス種別は、施設サービス、通所サービス、福祉用具貸与会社、居宅介護支援事業所であり、様々な職種の方が参加していただきました。

矢野様の
グループワークの様子



～参加者の感想～

「事故を予知できる知識を増やせる機会でした。」
「自分だけの視点でなく、いろいろな意見を聞いて勉強になりました。」
「多職種で意見を出し合うことで、いろいろな視点で事故について検討できたことが自分の考えを改める機会となり良かった。」

～介護老人保健施設はまゆう 原口様、矢野様ありがとうございました～
三股町役場高齢者支援課 電話：0986-52-9062